

平成25年度 決算報告書

国立大学法人筑波技術大学

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	2,454	2,496	42	(注1)
施設整備費補助金	71	71	0	
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	146	147	1	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	17	17	0	
自己収入	1,295	1,092	△203	
授業料、入学料及び検定料収入	220	224	4	(注3)
附属診療所収入	100	111	11	(注4)
財産処分収入	919	698	△221	(注5)
雑収入	56	59	3	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	27	235	208	(注7)
引当金取崩	—	19	19	(注8)
長期借入金収入	—	—	—	
貸付回収金	—	—	—	
目的積立金取崩	81	48	△33	(注9)
計	4,091	4,125	34	
支出				
業務費	3,419	2,745	△674	(注10)
教育研究経費	3,266	2,572	△694	
診療経費	153	173	20	
施設整備費	88	88	0	
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	146	147	1	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	27	22	△5	(注12)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	1	1	0	
国立大学財務・経営センター施設費納付金	410	349	△61	(注13)
計	4,091	3,352	△739	
収入－支出	—	773	△773	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、前年度からの繰越があったこと等により、予算額に比して決算額が42百万円多額となっています。
- (注2) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった補助金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が1百万円多額となっています。
- (注3) 授業料、入学料及び検定料収入については、学生納付金の増により、予算額に比して決算額が4百万円多額となっています。
- (注4) 附属診療所収入については、主として患者数が増加したこと等により、予算額に比して決算額が11百万円多額となっています。
- (注5) 財産処分収入については、竹園宿舍跡地売払い収入が予算段階の見込みより減額したため、予算額に比して決算額が221百万円少額となっています。
- (注6) 雑収入については、主として科学研究費補助金の獲得に努め、間接経費を受け入れたこと等により、予算額に比して決算額が3百万円多額となっています。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、当初の見込みより寄付金の獲得が不調だった一方で、筑波技術大学基金からの繰越があったこと等により、予算額に比して決算額が208百万円多額となっています。
- (注8) 引当金取崩については、予算段階では予定していなかった退職給付引当金使用額が発生したため、予算額に比して19百万円多額となっています。
- (注9) 目的積立金取崩については、年度途中での取崩計画の変更により、予算額に比して決算額が33百万円少額となっています。
- (注10) 業務費のうち教育研究経費については、主として財産処分収入を翌年度以降に繰越して執行すること等により、予算額に比して決算額が694百万円少額となっています。また、診療経費については、主として患者数が増加したこと等による費用の増加等により、予算額に比して決算額が20百万円多額となっています。
- (注11) 補助金等については、(注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が1百万円多額となっています。
- (注12) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注7)に示した理由により、予算額に比して決算額が5百万円少額となっています。
- (注13) 国立大学財務・経営センター施設納付金については、(注5)に示した理由により、納付金が減額したため、予算額に比して決算額が61百万円少額となっています。